

## 専門試験（林業）

[ 例題 1 ] ある地域の測量をするために、トラバース測量を行うことを計画している。次の記述のうち、妥当でないものはどれか。

1. 開放トラバース（開トラバース）：終点の座標が未知なトラバースであり、測量の正確さを確かめられないので、高い精度を必要としないときに用いられる。
2. 結合トラバース：既知点を結び、未知の新点の位置を求めるトラバース。
3. 閉合トラバース（閉トラバース）：1 点からはじまり、最後はふたたび出発点に戻り、多角形をつくるトラバース。
4. トラバース：ある地域を測量する場合の骨組の一種であり、測量に必要な測点を定め、順次、測線を結んで直線状となったものをいう。
5. トラバース網：いくつかのトラバースを組み合わせ、一つのトラバースでは測量できない広い区域の測量に用いられる。

正答 4

## 専門試験（林業）

[ 例題 2 ] 木材の構造に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 木材の放射断面には年輪が同心円状に現れる。
2. 樹木の肥大成長は形成層における細胞分裂によって行われる。
3. 同じ年の春から初夏にかけてできる早材と、夏から秋にかけてできる晩材では、あとにできた晩材の方が髄に近い。
4. 気候の変化の少ない地域でも年輪は明確で、樹木の 1 年の成長量を年輪によって知ることができる。
5. 樹皮は木部の外周部組織が劣化した結果できるものである。

正答 2